



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年1月25日

上場会社名 リコーリース株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8566 URL <http://www.r-lease.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 瀬川 大介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 戸谷 浩二 TEL 03-6204-0608
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	227,097	4.9	12,658	△2.6	12,565	△2.9	8,681	△2.8
29年3月期第3四半期	216,456	5.5	12,993	3.2	12,940	3.5	8,934	7.7

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 9,385百万円 (2.0%) 29年3月期第3四半期 9,199百万円 (10.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	278.09	—
29年3月期第3四半期	286.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	953,205	163,354	17.1	5,208.27
29年3月期	918,864	155,998	16.9	4,975.38

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 162,584百万円 29年3月期 155,314百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
30年3月期	—	35.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	297,300	2.1	16,800	△3.1	16,500	△4.0	11,300	△4.0	361.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	31,243,223株	29年3月期	31,243,223株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	26,693株	29年3月期	26,592株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	31,216,609株	29年3月期3Q	31,216,666株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(第3四半期連結累計期間の連結経営成績)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	増減	
			金額	伸率(%)
売上高(百万円)	216,456	227,097	10,640	4.9
営業利益(百万円)	12,993	12,658	△334	△2.6
経常利益(百万円)	12,940	12,565	△374	△2.9
親会社株主に帰属する四半期 純利益(百万円)	8,934	8,681	△253	△2.8
1株当たり四半期純利益	286円20銭	278円09銭	△8円11銭	—
(取扱高)				
リース・割賦事業(百万円)	244,488	262,153	17,664	7.2
金融サービス事業(百万円)	22,643	20,638	△2,004	△8.9
取扱高合計(百万円)	267,132	282,791	15,659	5.9

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、好調な内外需を背景とした企業収益の改善が進み、設備投資も緩やかに持ち直すなど景気回復基調を維持しております。ただし、人手不足を背景とした人件費の増加や地政学リスクの高まりによる先行きの不透明感は依然として続いている状況です。

リース業界においては、平成29年4月～11月累計のリース取扱高は、前年同期比4.6%減少の2兆9,916億円となりました。(公益社団法人リース事業協会統計)

このような状況の中、当社グループにおいては、新3ヵ年中期経営計画(中計)をスタートさせ、中計で定めた事業成長戦略と組織能力強化戦略のもと、注力分野に対する営業強化に加えて新規事業領域の開拓を図ってまいりました。

当第3四半期連結累計期間における総取扱高は前年同期比5.9%増加の2,827億円となり、営業資産残高は前期末から274億円増加し、8,114億円となりました。

その結果、売上高は前年同期比4.9%増加の2,270億円となりました。売上総利益は増加に転じたものの、中計で定めた組織能力強化戦略に向けたシステム費用を含む戦略経費などが増加したことから、営業利益は前年同期比2.6%減少の126億円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比2.8%減少の86億円となりました。

	売上高(百万円)			セグメント利益(百万円)			営業資産(百万円)		
	前四半期 累計	当四半期 累計	増減	前四半期 累計	当四半期 累計	増減	前期末	当四半期 末	増減
リース・割賦	209,618	219,592	9,973	10,970	10,711	△259	654,737	673,871	19,133
金融サービス	5,191	5,478	286	2,509	2,523	13	121,666	128,116	6,450
報告セグメント計	214,810	225,071	10,260	13,480	13,234	△245	776,404	801,988	25,583
その他	1,646	2,026	379	171	177	6	7,550	9,423	1,872
合計	216,456	227,097	10,640	13,651	13,412	△238	783,955	811,411	27,456

【リース・割賦】

リース・割賦事業においては、同業他社のみならずマイナス金利政策下で運用難に直面している金融機関との競争も継続するなか、事務用機器・情報関連機器、太陽光発電設備を中心とする環境関連機器、商業及びサービス業用機器などの取扱いが伸長し、取扱高は2,621億円と前年同期比7.2%増加しました。その結果、営業資産残高は前期末から191億円増加し、6,738億円となりました。

リース・割賦事業の売上高は前年同期比4.8%増加し2,195億円となり、セグメント利益は前年同期比2.4%減少し107億円となりました。

【金融サービス】

金融サービス事業は、前期に獲得した法人向け融資の大口契約の反動減により、取扱高は前年同期比8.9%減少の206億円となりました。営業資産残高は、前期末から64億円増加し1,281億円となりました。受取手数料については、集金代行サービスや介護報酬ファクタリングサービスが順調に推移しました。その結果、売上高は前年同期比5.5%増加し54億円となり、セグメント利益は貸倒費用の減少と受取手数料の増加から前年同期比0.5%増加の25億円となりました。

【その他】

その他の事業は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、計測・校正・機器点検等の受託技術サービス、及びリコーグループ内での融資、ファクタリング、国内キャッシュ・マネジメント・システムの運営等が含まれています。売上高は前年同期比23.1%増加の20億円、セグメント利益は前年同期比4.0%増加の1億円となりました。また、その他の事業の営業資産残高は、前期末に比べ18億円増加し94億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の状況)

	前連結会計年度末 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間末 (平成29年12月31日)	増 減	
			金額	伸率(%)
総資産(百万円)	918,864	953,205	34,340	3.7
*営業資産(百万円)	783,955	811,411	27,456	3.5
営業資産以外(百万円)	134,909	141,794	6,884	5.1
純資産(百万円)	155,998	163,354	7,356	4.7
自己資本比率(%)	16.9	17.1	0.2ポイント	

*営業資産には報告セグメントの営業資産に加え、その他事業の営業資産を含めております。

【総資産】

総資産は、営業資産が274億円増加したことなどから、前期末に比べ343億円増加し9,532億円となりました。

【純資産】

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益による86億円の増加と、剰余金の配当20億円による減少等で、前期末に比べ73億円増加し、1,633億円となりました。自己資本比率は前期末の16.9%から0.2ポイント改善し17.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年4月28日に公表した平成30年3月期連結業績予想の変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,061	5,886
受取手形及び売掛金	14	18
割賦債権	105,028	120,206
未収賃貸債権	38,020	37,889
リース債権及びリース投資資産	538,028	541,504
営業貸付金	129,217	137,539
その他の営業貸付債権	47,414	49,259
その他の営業資産	5,067	5,062
賃貸料等未収入金	6,210	7,166
その他の流動資産	25,244	23,238
貸倒引当金	△7,731	△7,530
流動資産合計	889,576	920,240
固定資産		
有形固定資産		
賃貸資産	20,050	22,992
社用資産	462	483
有形固定資産合計	20,513	23,476
無形固定資産		
賃貸資産	843	874
その他の無形固定資産	1,502	1,296
無形固定資産合計	2,346	2,171
投資その他の資産		
投資有価証券	3,875	5,411
破産更生債権等	1,205	1,031
その他	2,019	1,578
貸倒引当金	△671	△704
投資その他の資産合計	6,428	7,317
固定資産合計	29,288	32,965
資産合計	918,864	953,205

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,869	14,161
短期借入金	112,115	77,591
1年内償還予定の社債	30,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	97,942	69,725
コマーシャル・ペーパー	—	28,000
未払法人税等	2,677	1,630
割賦未実現利益	9,213	11,706
賞与引当金	780	418
役員賞与引当金	35	—
その他の流動負債	49,633	52,188
流動負債合計	329,269	265,423
固定負債		
社債	90,000	110,000
長期借入金	336,636	406,411
退職給付に係る負債	1,023	1,031
その他の固定負債	5,937	6,985
固定負債合計	433,597	524,428
負債合計	762,866	789,851
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,896	7,896
資本剰余金	10,160	10,160
利益剰余金	136,778	143,430
自己株式	△48	△48
株主資本合計	154,787	161,439
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	867	1,450
退職給付に係る調整累計額	△340	△305
その他の包括利益累計額合計	526	1,144
非支配株主持分	683	770
純資産合計	155,998	163,354
負債純資産合計	918,864	953,205

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	216,456	227,097
売上原価	193,153	203,767
売上総利益	23,302	23,330
販売費及び一般管理費	10,309	10,671
営業利益	12,993	12,658
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	18	18
その他の営業外収益	42	33
営業外収益合計	61	52
営業外費用		
支払利息	7	7
社債発行費	78	119
投資事業組合運用損	19	2
その他の営業外費用	9	16
営業外費用合計	115	145
経常利益	12,940	12,565
税金等調整前四半期純利益	12,940	12,565
法人税、住民税及び事業税	3,814	3,909
法人税等調整額	114	△113
法人税等合計	3,929	3,795
四半期純利益	9,011	8,770
非支配株主に帰属する四半期純利益	77	89
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,934	8,681

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	9,011	8,770
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	163	580
退職給付に係る調整額	24	34
その他の包括利益合計	188	615
四半期包括利益	9,199	9,385
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,121	9,299
非支配株主に係る四半期包括利益	77	86

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	リース・割賦	金融サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	209,618	5,191	214,810	1,646	216,456
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	209,618	5,191	214,810	1,646	216,456
セグメント利益	10,970	2,509	13,480	171	13,651

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、計測・校正・機器点検等の受託技術サービス、及びリコーグループ内での融資、ファクタリング、国内キャッシュ・マネジメント・システムの運営等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	13,480
「その他」の区分の利益	171
全社費用(注)	△657
四半期連結損益計算書の営業利益	12,993

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	リース・割賦	金融サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	219,592	5,478	225,071	2,026	227,097
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	219,592	5,478	225,071	2,026	227,097
セグメント利益	10,711	2,523	13,234	177	13,412

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、計測・校正・機器点検等の受託技術サービス、及びリコーグループ内での融資、ファクタリング、国内キャッシュ・マネジメント・システムの運営等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	13,234
「その他」の区分の利益	177
全社費用(注)	△753
四半期連結損益計算書の営業利益	12,658

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。